

意見交換会開催内容（①笠間小学校）

日時：平成24年5月23日（水）午後7時～8時15分

場所：笠間小学校 体育館

出席者：12名

意見：第1段階で「東小学校、佐城小学校、箱田小学校の3校を笠間小学校に統合することが望ましい」としているが、その統合の時期を「できる限り早い時期に実施することが望ましい」としている。実際に統合する時期はいつなのか。

回答：学区審議会の答申に対する保護者・地域の皆さんのご了解をいただいた上で、平成26年度に実施を予定しています。

意見：可能であれば、東小学校、佐城小学校、箱田小学校を笠間小学校に統合するのではなく、佐城小学校あたりにこの3校を統合してはどうか。

回答：学区審議会のときも東小学校を佐城小学校に統合してはどうかという意見がありました。しかし統合しても適正規模にはなりませんし、子どもたちの数が減少して再び統合が行われるのであれば、東小学校は最初から笠間小学校に来てしまったほうが良いという意見もありました。この場合、東小学校が佐城小学校を飛び越えて笠間小学校に行くとなると、適正規模に達しない佐城小学校がそこにあること事態おかしくなるのではないかという意見もありました。一方、箱田小学校は笠間中学校に進学しますので、保護者としては佐城小学校ではなく笠間小学校に行くべきだという考えを持っていました。学区審議会で計12回の審議を尽くした結果、この3校を笠間小学校に統合することが望ましいという結論に達したわけです。

意見：保護者の皆さんが笠間小学校に統合したほうが良いということであれば、それでよい。

意見：資料に「学校の適正配置に取り組む理由」が記されているが、複式学級がなぜ悪いのか、1学年1学級がどうして教育に悪いのか、小規模校だと集団コミュニケーション能力がなぜ落ちるのか、多様な人間関係の中での競争意欲の醸成・切磋琢磨がどうしてできないのか。子どもの数の引き算だけで進めていることが非常に不愉快である。

回答：複式学級ですが、小学校で2学年合わせて16人以下になると1つの学級を編制して授業をすることになります。東小学校の複式学級に対しては、市で先生を1人雇用して複式にならないよう手当てをしてまいりました。複式学級や1学年1学級の場合は学級編制がありませんので、1年生から6年生までずっと一緒のまま人間関係が濃密になっていき、中学校を含めると同じメンバーで9年間を一緒に過ごすことになります。それをプラスに感じる子もいるでしょうが、マイナスに感じる子はそこから逃げ出すことができません。やはり、クラス替えができて人間関係を変えることができる学校規模が適正だということです。集団生活によるコミュニケーション能力の形成とは、1学年1学級で人間関係が固定化されてしまうのではなく、クラス替えをしながら集団の中でどう付き合っていくかを子どもたちに学ばせるということです。こうしたことを資料の「学校の適正配置に取り組む理由」として記述しているわけです。将来自立して社会に貢献できる子どもたちを育てていくためにはどういう環境が必要なのかという視点から、学区審議会の答申が出てきたと理解しています。

意見：教育予算を減らすことを前提として進められるのは非常に困る。

回答：教育予算を減らすというようなことではありません。教員の給与は国と県が出して市町村は出していませんが、むしろスクールバスを運行することによって市の負担が増すものと考えています。経済的な理由で適正配置を進めているのではなく、子どもたちの教育環境をどうするかという視点から進めているわけです。

意見：統合によって制服や体操服がどうなるのか保護者として心配である。無理かもしれないが、統合前に制服や体操服がどこも同じになれば、いつ統合してもいいという思いはある。また、中学校が統合したときにスクールバスを出すということだが、大きなバスだけでなく、部活等に合わせてデマンドタクシーのような何人かで利用できるものも考えてほしい。

回答：制服等の詳細やスクールバスの運行計画については、実施計画や統合に向けた準備作業の中にすべて入ってきます。おっしゃられたようなことを十分に検討していかないと、保護者や地域

の皆さんの合意も得られないと考えています。

意見：スクールバスは民間委託と市運営のどちらを検討しているのか。

回答：自前にするのか、委託にするのか、バスの購入も含めて業務を委託するのかについては、経済性を比較しながら進めていかざるを得ないと思います。民間委託が増えており、そのほうが安いという傾向はありますが、これから調査してまいります。

意見：子どもの犠牲の上にこの計画が立てられているような感じを受ける。被害者は子どもたちであり、その保護者だと思う。

回答：被害者とは考えていません。現在、東小学校の児童の半分以上はバスで通っていますが、統合で通学距離が長くなっても、今までどおりバスに乗ってくればいいというのが保護者の考え方です。学校が変わっても、むしろ大勢の環境の中で一緒に生活し、交友関係が広がっていくというようにとらえていらっしゃるということです。乗車時間が長くなる子もいると思いますが、それで犠牲になるとか被害者になるとかという感覚ではないと受け止めています。